

# SDGs未来都市等進捗評価シート

2022年度選定

兵庫県加西市

2023年9月

SDGs未来都市計画名

加西市SDGs未来都市計画  
～ SDGsの推進を通じてみんなで創る 加西の元気力 ～

自治体SDGsモデル事業  
又は特に注力する先導的取組

—

## 1. 全体計画（2030年のあるべき姿）

## (1) 計画タイトル

加西市SDGs未来都市計画 ～ SDGsの推進を通じてみんなで創る 加西の元気力 ～

## (2) 2030年のあるべき姿

これまで当市では、本格的な人口減少社会が到来するなか、人口問題や地域の活性化に対応するため、他の団体に先駆けて子育て世帯や若年層への支援など積極的に進めてきたが、出生率の低下や人口減少の進行は依然として大きな課題として残っている。

今後、こうした状況を打開していくためには、行政だけではなく、市民一人ひとりが地域に役割と居場所を持ち、関わり合い、市外の関心ある人とも連携・協力する「協創のまちづくり」とその人材育成を進めていくことが重要と考える。人とつながり、地域とつながり、外部の人材も加わって「協創」していくことで、加西市というまちがより住みやすく、魅力あるまちとなるだけでなく、その文化や信念を受け継いでいき、十年後、百年後も住みやすさと歴史が共存し、また、環境や経済など、社会のあらゆる面において持続的な発展が広がっていくまちの実現を目指す。

## (3) 2030年のあるべき姿の実現へ向けた優先的なゴール

経済	社会	環境
		 

## (4) 2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況

No	指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号	当初値	2022年（現状値）	2030年（目標値）	達成度（%）
1	製造品出荷額 【9.2・9.4】	2019年 3,321 億円	2022年 2,480 億円	2030年 4,600 億円	-66%
2	移住相談人数 【11.3・11.a】	2021年 179 件	2022年 334 件	2030年 358 件	87%
3	市内の温室効果ガス排出量 【7.2・7.3】	2019年 441 千t-co2	2022年 360 千t-co2	2030年 310 千t-co2	62%
4	住民1人1日あたりのゴミ排出量 【12.3・12.5】	2019年 793 g/人・日	2022年 828 g/人・日	2030年 740 g/人・日	-66%

## (5) 「2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況」を踏まえた進捗状況や課題等

【経済】コロナ禍において事業活動に様々な制約が出ており、今後の展開や感染拡大による影響を注視していく必要があるが、ストコロナ、ウィズコロナに対応する企業のデジタル化、持続化、販路開拓の取組に対して積極的に支援を行った。今後、事業者の持続化のため企業の見える化を進めていく必要がある。

【社会】コロナ禍によって、若者の地方移住に対する見方や考え方が変わってきており、前年度のほぼ倍となる実績となった。

【環境】コロナ禍の在宅時間の伸長により、ごみ排出量が大きく悪化しているため、より環境保全意識などを行動変容につなげていく必要がある。また、リサイクル事業については、コスト費用を抑えながら、国の施策に準じプラスチック資源の分別収集・再資源化の検討を行っていきたい。

※本計画の目標に掲げている各KPIはアウトカム指標が主となっているとともに、本市ではSDGsに資する事業創出の土台となるための個人や企業・団体等の強靱なネットワーク構築を目的としているため、なかなか成果が如実に現れにくい。ただ、SDGs推進に資する取組（ネットワーク構築）については2023年度に向けて着々と準備ができており、長いスパンでの効果を目指していく。

## 1. 全体計画（自治体SDGsの推進に資する取組）：計画期間2022年～2024年

## (1) 自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況

No	取組名	指標名	当初値	2022年実績	2023年実績	2024年実績	2024年目標値	達成度(%)
1	1.商工業の振興と新展開 2.農業の再生と活性化	創業件数	2021年 12件	2022年 14件			2024年 15件	67%
2	1.新しい家族と出会い、育むための支援の充実 2.子どもの教育の充実 3.協創のまちづくりの推進 4.地域資源の活用と人の流れの創出 5.健康に過ごし、学び、楽しめる環境づくり	出生数	2020年 190人	2022年 197人			2024年 227人	19%
3	1.廃棄物の発生を抑制する循環型社会づくり 2.地域の多様な主体が一体となった環境づくり 3.地球環境に配慮した脱炭素社会づくり	市内の太陽光発電設備導入量	2019年 109,732 kw	2022年 128,110 kw			2024年 118,900 kw	200%
4		ごみのリサイクル率	2019年 20.9%	2022年 19.5%			2024年 22.3%	-100%

## (2) 自律的好循環の形成へ向けた制度の構築等

- ① 総合的プラットフォーム「（仮称）加西市SDGs推進パートナーズ」の設置
- ② 「加西市SDGs登録制度」の創設
- ③ 地域通貨アプリ（デジタル地域通貨）の活用・連携強化

これからの本市におけるSDGs推進に向け、市幹部で構成する「加西市SDGs推進本部会議」、横断的な部署職員で構成する「加西市SDGs推進プロジェクトチーム」、企業代表4名・団体代表5名・市民代表3名の計12名で構成する「加西市SDGs推進検討委員会」を新たに設置し、検討・協議を行った。上記の会議による検討・協議結果を踏まえ、①～③については、予算化を図り、2023年度から実施していく予定である。

## (3) 「自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況」を踏まえた進捗状況や課題等

【経済】2021年度より加西市での起業・創業を目指す方を応援するため、事業を始めるにあたって必要となる改修費用や専門家経費、販促費用などの初期投資に対する補助制度を開始した。その影響もあり、創業件数が増加するとともに、创业者のロコミによって好循環が生まれている。今後、事業者の持続化のため企業の見える化を進めていく必要がある。

【社会】コロナ禍の影響を受け、低い水準となっているが、2021年度より加西市子育て応援「5つの無料化」と題し、「子育て世代にやさしいまち」を目指して、保育所・認定こども園の保育料、全保育・学校施設の給食費、乳幼児・こどもの医療費、乳幼児を養育する世帯にオムツ等、病児病後児保育の無料化を行った。今後、制度の更なる周知を図り、出生数の向上を目指す。

【環境】国や地方自治体の脱炭素化の取組が活発化している社会情勢もあり、市内の太陽光発電設備導入量が年々増加している一方、コロナ禍の在宅時間の伸長により、ごみ排出量が大きく悪化しているため、より環境保全意識などを行動変容につなげていく必要がある。また、国の施策に準じプラスチック資源の分別収集・再資源化の検討を行ってきたい。

## 1. 全体計画（自治体SDGsの推進に資する取組）：計画期間2022年～2024年

## （4）有識者からの取組に対する評価

- ・太陽光発電の導入が進行していることは高く評価される。地域エネルギーの需給バランスの検討を期待する。
- ・資源循環、カーボンニュートラルについて、マクロなアウトプット指標だけでなく取り組みの進捗を評価する行動指標についても検討を期待する。
- ・SDGsの理念を踏まえ、経済・社会・環境の統合的取組の視点から、より幅広い活動を展開し、地域を活性化することが求められる。指標の設定や達成率に改善の余地があるように見受けられる。